

## 平成18年度当初予算(案)主要事業説明

一般会計

(09)消防費

(単位：千円)

事業名	概要	18年度 予算額	17年度 予算額	所管
救急救命士の資格取得養成	傷病者の救命効果の一層の向上を図るため、救急救命士を計画的に養成する。 平成18年度養成計画数 2人 平成17年度未養成状況 70人予定	5,628	10,295	総務課
応急手当の普及啓発	救命効果の向上を図るため、応急手当普及員の協力を得ながら、応急手当の普及啓発を市全域で推進する。 さらに、応急手当普及員の中から応急手当指導員を養成し、活動の拡大を図る。 目標 講習回数 200回、受講人数 5,000人 応急手当普及員バンク登録目標 200人	2,098	2,138	警防課
メディカルコントロール体制整備事業	救急救命士の処置範囲の拡大等救急業務の高度化に対応するため、実施した応急処置の事後検証や再教育などを行うメディカルコントロール体制の充実強化を図る。 ・気管挿管病院実習等の実施 ・検証医による事後検証の実施など	4,656	5,622	警防課
火災のない安全なまちづくり事業	市民を対象に防火・防災意識の高揚を図り、災害のない明るいまちづくりを推進する。 ・消火器体験実習会の開催など	5,200	5,715	予防課
(新規事業) 山火事防止看板整備事業	林野火災の防止を図るため、登山道などに山火事防止看板を掲出し、火災予防の啓蒙を図る。	500		予防課
自主防災組織の育成指導	地震等の大規模災害が発生した場合、自主防災組織が効果的な活動を実施できるよう、各種機器の取り扱いや応急救護、初期消火等の指導を実施する。	1,468	2,180	警防課
(新規事業) 消防団機械器具等整備事業	地震等の自然災害時における消防団の組織力を生かした活動を、より効果的に行うため、救助用資機材を整備する。	4,000		警防課
防火水槽の整備	消防水利の不足地域や消火栓のみに偏った地域に防火水槽を設置し、消防水利の充実を図る。 ・100?型耐震性貯水槽1基 ・40?型防火水槽4基	44,429	61,472	警防課
消防車両の更新整備	老朽化の著しい消防車両の更新整備を図る。 ・高規格救急車 1台 ・化学車 1台 ・普通消防ポンプ車(団) 2台 ・指揮車 1台	123,111	177,229	警防課

事業名	概要	18年度 予算額	17年度 予算額	所管

事業名	概要	18年度 予算額	17年度 予算額	所管
富山消防署東部 出張所の建設	老朽化した常備消防拠点を移転建設し、防災拠点としての機能の向上を図る。 ・敷地面積 3,199.99㎡ ・構造 鉄骨2階建て、延べ面積 891.27㎡ ・その他、災害備蓄庫併設	153,258	159,000	総務課
(新規事業) 大沢野消防署 細入分遣所の建設	常備消防拠点がなかった細入地域に分遣所を建設し、消防力の強化を図る。 ・構造 鉄骨平屋建て、延べ面積 214.5㎡	70,229		総務課
分団器具置場の改築	地域の防災拠点である消防団器具置場を、防災資機材等を収納できる施設として建て替え、地域の防災力の向上を図る。 太田 敷地面積264.51㎡、延べ面積100㎡ 清水町 敷地面積250.47㎡、延べ面積100㎡	39,500	40,500	総務課